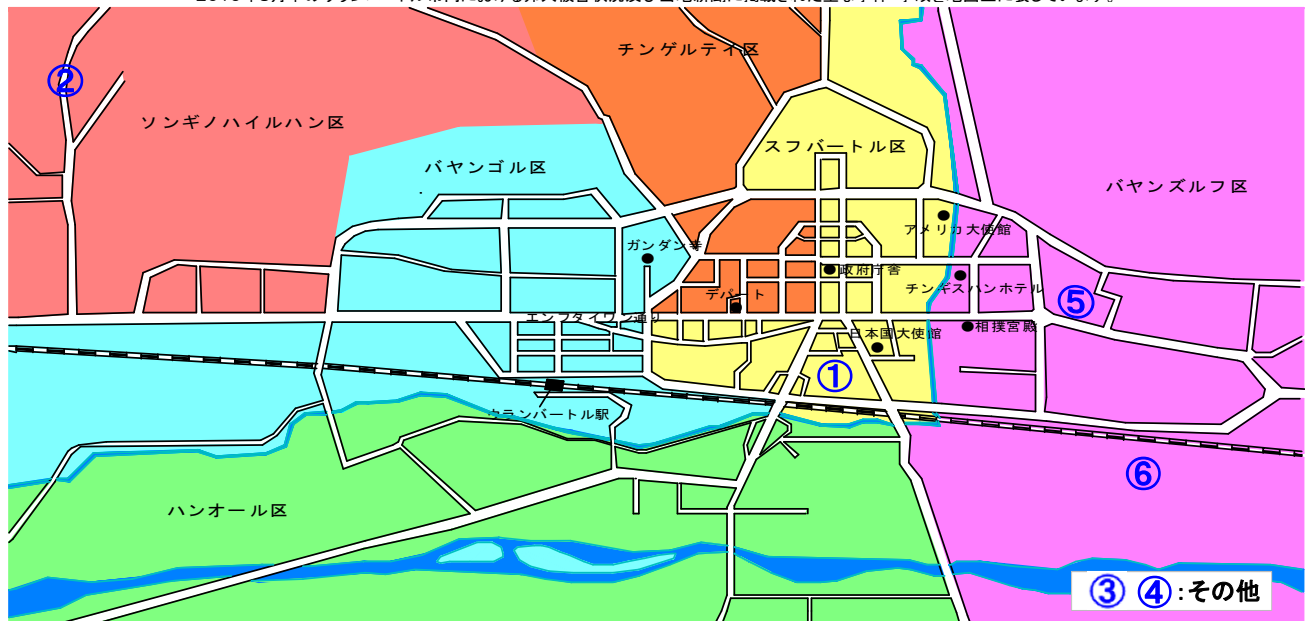


UB CITY 安全情報 (2019年9月号)

2019年8月中のウランバートル市内における邦人被害状況及び当地新聞に掲載された主な事件・事故を地図上に表しています。



※邦人被害状況（大使館調べ）

	事件発生日時	事件発生場所	状況
①	8/17 9:00頃	国立遊園地敷地内（ジ・パ・ソフェスティバル会場）	会場テント内に置いていたバッグから、携帯電話、現金及びカード等が盗まれた。

※当国新聞掲載事件・事故

	掲載日（任国新聞）	場所	被害者（性別・年齢等）	犯人（性別・年齢等）	
②	8月8日	木 ソングノハイルハン区 バヤンホショー通り	52歳男性	詳細不明	交通死亡事故：6日（火）、ソングノハイルハン区のバヤンホショー通りにおいて、走行中の車が道路を徒歩で横断中の52歳男性をひいて、死亡させる交通事故が発生した。
③	8月19日	月 ウランバートル市内各地	2名 （詳細不明）	詳細不明	交通死亡事故：交通警察の発表によると、17日（土）、18日（日）にウランバートル市内で発生した交通事故で2名が死亡した。今年7月末までに全国各地で発生した交通事故により146名が死亡（前年比+26%）するなど、交通死亡事故が例年より増加傾向にある。
④	8月22日	火 ウランバートル市内各地	女性、泥酔者等	犯罪グループ （4組、計15名）	犯罪グループの逮捕：首都警察本部凶悪犯罪対策局は、泥酔者や夜中に単独で歩いている女性達を対象として強盗を行っていた凶悪犯罪グループ（4組、計15名）を逮捕した。彼らの年齢構成は17～19歳で、これまでの捜査により、強盗6件、スリ3件、詐欺3件に関係していたことが判明している。
⑤	8月26日	月 バヤンズルフ区第4ホロー バヤンズルフ区第三警察署管内		7名 （17～29歳）	薬物の使用・所持：バヤンズルフ区第三警察署は、大麻及び向精神薬を違法に入手し、390グラムの大麻を保管の上、使用していた7名（17～29歳）を逮捕した。警察発表によると、被疑者等は、過去にスリや強盗事件で1～3年間、刑務所に服役していた前科があるとのこと。
⑥	8月30日	金 バヤンズルフ区第26ホロー ドンジンガラ通り	女性2名	男性1名	危険走行による交通死亡事故：バヤンズルフ区のドンジンガラ通りで、ドリフトなどの危険走行を行っていた車が、道路脇でその状況を動画撮影していた女性2名に突っ込み、運転手の男性も含めて計3名が死亡する交通事故が発生した。警察は最近、青少年による違法な危険走行が横行しているため、危険行為を止めるよう呼びかけている。

	殺人	屋外強盗	屋内強盗	屋外窃盗	侵入窃盗	暴行・傷害	強姦	薬物犯罪	詐欺	誘拐/行方不明	その他	合計
スフバートル区				1								1
ソングノハイルハン区												0
チンゲルテイ区												0
ハンオール区												0
バヤンゴル区												0
バヤンズルフ区								1			1	2
その他（不明等）		1									2	3
合計	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	3	6

・強盗などの凶悪犯罪を敢行していた犯罪グループの構成員（計15名）が逮捕されました。警察発表によると、「泥酔者」や「夜間に単独で歩いている女性」などが狙われたことが判明しています。モンゴル警察庁は、この種の犯罪を未然防止するためには、「夜間の“一人歩き”を避けること」「監視カメラや明かりのない狭い路地を歩かないこと」及び「白タクを利用せず正規のタクシーを利用すること」等の対策を講じるよう呼びかけています。

・今月も邦人の盗難（置き引き）被害が発生しました。職場など関係者のみが立入りできる場所であっても、極力、貴重品は持ち歩き、自己管理してください。若しくは、同僚や関係者の中から保管責任者を指定し、責任を持って組織的に管理するようにしましょう。